

2024 ANNUAL REPORT

SRHR pharmacy
PROJECT



SRHR pharmacy PROjectとは？

薬剤師を中心に、みんなの暮らしの中にSRHRが溶け込む社会を作るために活動しています。

SRHRとは「**S**exual **R**eproductive **H**ealth and **R**ights」の頭文字をとったもので、日本語では、「性と生殖の健康と権利」と訳されます。自分のからだは自分のものであり、プライバシーが守られ、差別や強制、搾取、暴力を受けず、自己決定が尊重されることを当たり前にしようという考え方です。

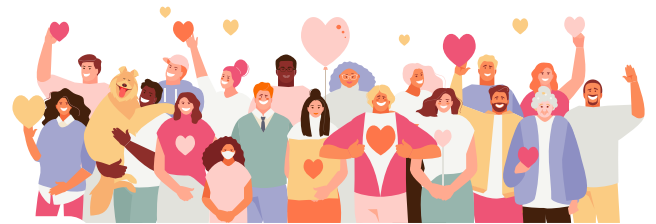
女性や思春期のヘルスケアに薬剤師が積極的に関わっていない状況を変えるため、薬剤師が学ぶ場を作り、ともに行動し、発信できる仲間を増やしていきます。

当団体は、3つの軸で事業や活動を展開しています。

1. セクシャル・リプロダクティブ・ヘルスケアに関する学びの推進
2. ユースフレンドリーファーマシー相談室
3. ソーシャルアクション：薬剤師の立場でSRHRに関わる政策を提言

2024年度は36人の仲間とともに活動しました。

一般会員19名、賛助会員4名、学生会員5名、正規会員8名の計36名の入会がありました。職種としては薬剤師が最も多く、他には薬学部学生、助産師、保健師、大学教員、会社員など、全国各地から入会してくださいました。



会員特典

- 年間4回程度のセミナーにお得に参加できます（年度内に限りすべてアーカイブ視聴可能）
- 年2回程度の交流会へ参加できます
- 女性・思春期のヘルスケアに関する活動を始めたい会員は、実践的な情報提供やアドバイスなど個別のサポートを受けることができます
- SNSでコミュニティに登録し、会員同士で情報交換や交流ができます
- 学生は入会金・会費ともに無料です



1. セクシャル・リプロダクティブ・ヘルスケア に関する学びの推進①

主に薬剤師や薬学生に向けて、セミナーや交流会を定期的に行っています。

セミナーでは、女性や思春期のヘルスケアに関することはもちろん、相談支援のための基本的な知識やコミュニケーションスキルなどの関連テーマについても扱います。セミナー講義のあとは参加者同士でディスカッションをする時間を設け、実践における悩みや困りを共有すること、どうすれば実践につながるかを具体的に考えシェアする機会としています。非会員の方からもセミナー毎に受講を受け入れており、延べ129人の非会員の方に受講いただきました。



2024年度実施のセミナーテーマ

◆薬局全体で知っておきたい 緊急避妊薬の“How to”

－対応・心構え・サポート－

◆HPVワクチンの基礎と重要性 －薬剤師から10～20代への情報提供－

◆月経と貧血 －貧血を侮る勿れ－

◆薬剤師として考えておきたい！多様性とは？－薬局で起こりうる事例をもとに－

～参加者の声～

「緊急避妊薬について実際の対応や心がけることを学ぶことができ、SRHRなど初めて知ることもあり、大変勉強になりました。」

「薬剤師さんと心理師さんの一般的知識と心構えを入れてからのロールプレイングはすごく説得力ありました。」

「インターネットや本で学べる範囲ではなく、1歩2歩も踏み込んだ現場の話が聞けてとても勉強になった。」

「具体的な対応の仕方を教えていただき、即現場で生きる講義が聴けて勉強になりました。」

「HPVワクチンについて、学問的なことから社会的な背景まで知ることができて、勉強になりました。」

「（HPVワクチンについて）最新の知見を知ることができ、有意義でした。」

「バウンダリーについて今までよく分からなかったが、とてもよく分かった。」



1. セクシャル・リプロダクティブ・ヘルスケア に関する学びの推進②

女性や思春期のヘルスケアに関わる活動を地域で新たに始めたいと考えている会員の皆様に対して、実践的なアドバイスや個別のサポートを大切にしています。

「何から始めたらいいの?」「うちの地域でもできるかな?」といったお悩みに寄り添いながら、活動の立ち上げや継続に向けて、実際に役立つアドバイスや個別のフォローを行っています。地域の状況に合わせた工夫や、他の地域の取り組みの紹介、ちょっとしたアイデア出しなど、気軽に相談できる環境づくりを大切にしています。皆様の地域ヘルスケアへの挑戦、後押しいたします。



～サポートを受けた会員の声～

「中学生を対象にプレコンセプションケアとHPV感染症予防に関する講演を行いました。講演未経験で不安な中、企画書やスライドの見直し、話し方のコツなど細やかに支援していただき、大変心強かったです。」

「性感染症について、社内で勉強会を行う際に自分でスライドを作り、団体側に最終チェックをお願いしました。情報提供において注意する点や、盛り込んだ方がよい情報などアドバイスいただき、無事に勉強会を開催することができました。」



2. ユースフレンドリーファーマシー事業

薬局はアクセスしやすく、プライバシー確保の観点で優れていることから、海外ではリプロダクティブ・ヘルス・サービスを提供する場として公衆衛生上の重要な役割を果たしています。例えば、「青少年に優しい薬局（ユースフレンドリーファーマシー）」プロジェクトでは、若者に対して緊急避妊の対応や性感染症の予防とケア、避妊に関する相談などを薬局が担っています。

日本におけるユースフレンドリーファーマシーの在り方を確立し普及するため、荒川区を拠点に主に若者や女性を対象に「ユースフレンドリーファーマシー相談室」活動を行っています。薬剤師や保健師が中心となり、からだの成長発達、月経、射精、性行為と避妊、性感染症予防、妊娠、DV（デートDVも含む）などの情報提供を行っています。



Youth Friendly Pharmacy
ユースフレンドリーファーマシー相談室
思春期、はたらき世代の無料お悩み相談室

お茶を飲みながらおしゃべりしたり、性的こと、身体のこと、家族・友だち・恋人との関係や生活のことなど、なんでも相談できる場所です。

日時・場所
4月16日13時～17時 西日暮里駅
5月26日13時～16時 なにかし堂
6月23日14時～17時 OGP薬局
7月27日14時～16時 まどい荘
8月25日13時～16時 なにかし堂
9月29日13時～17時 OGP薬局
詳しい場所はHP・SNSでご確認ください

内容
個別相談
生理や貧血、避妊、低用量ピル、性的なこと、更年期の相談を受け付けています。個別相談は予約が必要です。
最新生理グッズのあれこれ
おりものシートなど体に必要なグッズを知り、触って、体験できます。
性教育絵本・漫画展示
幼児期から中高生、保護者に読んでほしい性教育の絵本や漫画を展示

お問い合わせ先 一般社団法人SRHR pharmacy PROJECT
担当者：鈴木
Mail: srhrpharmacyproject@gmail.com

QRコード: @s_arakawa

〈開催実績〉

2024年4月～2025年3月、毎月1回開催

〈開催場所〉

- ・OGP薬局荒川店（荒川5丁目11-18）
※現在はりんごちゃん薬局
- ・なにかし堂（南千住1丁目25-11）
- ・西日暮リエキラボniri（西日暮里駅ナカ）
- ・まどい荘（西尾久2丁目15-5）

〈ミニ講座の内容〉

「低用量ピルや月経用品を知ろう」
「無意識に子どもを傷つけてしまわないために
支援者が知っておくとよいバウンダリーのはなし」



3. ソーシャルアクション

薬剤師の立場で、SRHRに関わる政策提言

薬局での研究事業（試験販売）が開始して2年度目となりました。OTC化に向けて、利用者にとってよりよい運用となるよう継続して薬剤師の立場から働きかけを行いました。

- 6月10日院内勉強会「緊急避妊薬の薬局試験販売の課題と展望を考える」にて、副代表の村上が意見を述べました。
- 自民党総裁選・立憲民主党代表選に際して、候補者へ緊急避妊薬スイッチOTC化に関するアンケートを実施しました。
- 衆議院（10月）選東京選挙区候補者へ緊急避妊薬OTC化についてのアンケートを実施しました。9月26日以降の約1か月間、東京都でのみ緊急避妊薬の試験販売（研究事業）がストップしている状況が続いていました。国の事業であること、そして東京都でのみ起こっている状況であることから東京選挙区候補者へアンケートを実施し、結果を10月27日公表しました。10月29日より東京都で事業が再開しました。これに関連して、メディアにコメントを掲載させていただきました。

アンケート結果概要

東京小選挙区から立候補の137名のうち38名（回答率27.7%）から回答がありました。

質問1：緊急避妊薬のスイッチOTC化について

回答：来年度以降、速やかにスイッチOTC化：32名

来年度以降も議論の余地あり：5名、医師の処方が必要：0名、無回答：1名

質問2：東京都でのみ緊急避妊薬に関する研究事業が停止した経緯の開示、事業の推進（再開）に

回答：取り組む：24名、取り組まない：0名、無回答：14名

#衆議院選で変えよう

緊急避妊薬の未来



- ・朝日新聞11月25日紙面

「緊急避妊薬の試験販売、薬局数が拡大 東京都では1か月停止、なぜ？」

- ・朝日新聞12月4日オンライン

「緊急避妊薬、試験販売が拡大 処方箋不要、今秋から参加340薬局に」

- ・東京新聞11月26日紙面

「緊急避妊薬 普及へ道半ば」



研修講師・講演など

研修講師・講演

荒川区

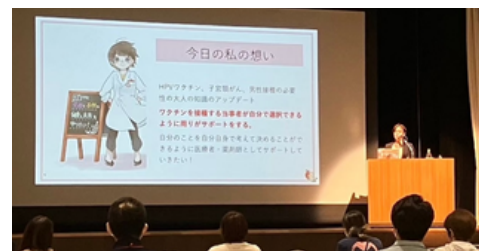
- 荒川区、荒川区薬剤師会後援のもと地域住民向け講演会
「子どもたちの未来を守るための性教育とHPVワクチンのこと」
- 荒川区フォスタリング機関 里親・ほっとファミリー対象勉強会
- 令和6年度あらかわママ企画講座
「自分と家族の笑顔を守るために知っておきたい更年期のこと」

薬剤師会

- 兵庫県薬剤師会第1回セルフメディケーション研修会
「明日から実践できる、女性ヘルスケア」
- 佐賀県薬剤師会第3回薬剤師生涯学習研修会
「明日から実践できる、女性ヘルスケア」

他団体など

- 薬剤師の“わ” 「いま一度知っておきたい緊急避妊薬について」
- 日本薬学生連盟第26回年会「薬剤師と緊急避妊薬の今」
- 全日本民医連人権と倫理センター・産婦人科医療委員会・薬剤委員会
「SRHR が医療にとけこむ社会へ私たちの役割 緊急避妊薬の普及活動を通して」



取材等

- 日本財団ジャーナル「若者向けヘルスケア相談室ユースフレンドリーファーマシーを広める意義を薬剤師に聞いた」
- 調剤と情報2024年5月号「女性・若者に寄り添うユースフレンドリーファーマシー」

学術発表

- 鈴木怜那「ユースフレンドリーファーマシー相談室を通じた薬剤師による若者・働き世代向けヘルスケア支援活動」

